

共生・公正・創造  
共生の精神のもとに、心  
とところをつなぎ、次代  
につながる公正な社会を  
創ります。

# JR東日本労働組合 東京地方本部

JR東日本労働組合  
東京地方本部  
東京都千代田区鍛冶町2-11-11  
発行者・福田 高夫 編集者・室岡 圭司  
TEL(NTT)03-3251-2191 (JR)057-2292  
FAX(NTT)03-3251-2192 (JR)057-2292



東京地本は、9月3日  
田町交通ビルに於いて第  
4回定期大会を開催した。  
大会は50名の参加者で、  
一年間の総括と2016  
年の運動方針が提起され  
た。  
司会進行は小泉執行副  
委員長が議長選出まで務  
めた。議長には、伊藤代  
議員(中野電車区)が立  
候補し承認され、議事を  
進行した。  
冒頭、多忙の中駆けつ

### スローガン

J R 労働者の連帯を作りだし 働きやす  
い環境づくりと安心・安全な会社づくり  
に寄与する労働運動を作りだそう!

## 職場にいる組合員の為の労働組合を 全組合員で創り出そう!

### 第4回定期大会開催!



議事に入り、第1号議  
案「大会延期承認」、第  
2号議案「2016年度運  
動方針(案)」、第3号議  
案「2015年度決算及び  
会計監査報告」、第4号  
議案「未処分収支剰余金  
の処分(案)」、第5号議  
案「2016年度予算(案)」、  
第6号議案「諸規則  
の一部改正(案)」が執行  
部から提案された。

田執行委員長あいさつ  
(別掲)の後、来賓の皆  
様よりあいさつを頂いた。  
大畑おさむ北区区議会議  
員、交通共済松井事業本  
部長、生田本部書記長、  
八王子地本清水執行委員  
長、横浜地本杉山業務部  
長、退職者連絡会橋本会  
長より連帯のあいさつを  
頂いた。



質疑に入り代議員7名  
から発言があり、運動方  
針を補強していただいた。  
(発言内容は別掲)  
郷書記長が集約答弁で締  
めた。(別掲)  
採決に入り、全ての議案  
が満場一致で承認された。  
その後、「大会宣言  
(案)」が読み上げられ  
拍手で承認された。  
最後に、福田執行委員  
長の団結カンパロウで大  
会を締めました。  
大会終了後に、懇親会  
を開催した。



4月14日と16日の二度に  
わたり、熊本県を中心に最  
大震度7の大規模地震が  
発生しました。49名の方々  
が亡くなったという甚大な被  
害が発生しました。地震発  
生から4ヶ月過ぎてもいま  
だ4000名を超える被災  
者が避難所生活を余儀な  
くされています。  
あらためて、この震災およ  
び長引く避難所生活でお  
亡くなりになられた方々に  
心からお悔やみを申し上げ  
るとともに、被災されたす  
べての方々にお見舞い申し上  
げます。

執行委員長の福田です。  
JR東日本労働組合第4  
回東京地本定期大会にご  
参加の大会構成員と傍聴  
者の皆さん大変、苦労様  
です。そして、お忙しいなか  
激励に駆けつけてくださ  
り、来賓の皆様は心から  
御礼を申し上げます。



## 福田執行委員長あいさつ

今年、戦後71年を迎え  
て、原子爆弾を広島・長崎  
に投下した、アメリカ合衆  
国オバマ大統領の広島訪問  
が実現し、世界に核兵器廃  
絶を訴えました。世界の指  
導者が世界平和を唱える  
なか、第24回参議院議員  
通常選挙において、安倍首  
相は、憲法改正の発議に必  
要な三分二以上の議席を  
獲得しました。今後は改憲  
案の提出、さらに国民投票  
を視野に入れた改憲の動き  
が加速すると思われ、私  
たちは、現行憲法を守り、  
民主主義を守るべく、労働  
組合としても戦争政策反  
対の取り組みが求められ  
ています。

東京地本も、本部を通して  
JR九州労働組合本地方本部・  
貨物鉄道労働者の被災された  
組合員・家族に対して、支  
援活動を展開してきました。  
今後も本部の要請にもつ  
き支援活動を継続して取  
り組めます。

私たちが労働組合の使命は、  
安全第一で安全確立を最  
優先課題とし、会社は一切  
妥協せず、お客様、JRで働  
く多くの仲間の死傷事故セ  
口に向けて取り組むことで  
す。私たちが今後も団体交  
渉や経営協議会などを通  
じて、会社により実効性の  
高い安全対策を講ずるよう  
に求めていきます。

組織拡大の取り組みです。  
昨年の本部大会以降、全  
国で4名の仲間が加入され  
ました。今後の課題として  
JR東日本関連会社に働く  
仲間の組織拡大が急務で  
あり、本部と連携しながら  
組織化に向けて取り組みま

第24回参議院議員通常  
選挙は安倍首相がめざす、  
憲法改正に向けて国会発  
議の議席を確保する結  
果になりました。東京地本  
は、2名の方を推薦して闘  
いました。  
結果は比例区森谷たかし  
(私鉄総連)惜敗。東京選  
挙区小川敏夫、当選でした。  
組合員・家族・退職者  
連絡会の皆様のご支援に  
感謝申し上げます。これか  
ら、自民党の一強体制と  
安倍政権への歯止めをかけ  
るべく、民進党を中心とし  
て仲間を大切にす政党的  
候補者を推薦し闘います。

最後に、JR連合加盟問題  
についてです。  
JR連合は、第24回定期大  
会で、東日本三オンの脱退  
を決定し「ジェイアール東日  
本労働組合」とJR労働組合  
が統一したJR東日本労働  
組合の加盟申請は保留扱  
いとしました。

私たちが、JR労働界にお  
ける、大同団結・一元化に  
向けて、日々、職場で組合  
員が奮闘しているなか、JR  
連合の許しがたい暴挙であ  
り、怒りを感じます。JR連  
合の結成目的を自ら放棄  
するとは思えません。しか  
し、全国の良識的なJR連合  
の仲間は私たち東日本三  
オンの運動に共感し、応援  
してくれていることを聞き及  
びます。これからは統一  
の目的である、東日本にお  
けるJR内多数派形成のた  
めに、地本・分会が一体に  
なり、組織の強化・拡大す  
べく、全力で取り組みます。

これからも、仲間を大切  
にして、職場の他労働組合  
員に東日本三オンの加入を  
呼びかけましょう。  
代議員の真摯な討論で方  
針への補強して頂くようにお  
願いして東京地本執行委  
員会を代表しての挨拶とい  
たします。

私たちが、JR労働界にお  
ける、大同団結・一元化に  
向けて、日々、職場で組合  
員が奮闘しているなか、JR  
連合の許しがたい暴挙であ  
り、怒りを感じます。JR連  
合の結成目的を自ら放棄  
するとは思えません。しか  
し、全国の良識的なJR連合  
の仲間は私たち東日本三  
オンの運動に共感し、応援  
してくれていることを聞き及  
びます。これからは統一  
の目的である、東日本にお  
けるJR内多数派形成のた  
めに、地本・分会が一体に  
なり、組織の強化・拡大す  
べく、全力で取り組みます。

最後に、JR連合加盟問題  
についてです。  
JR連合は、第24回定期大  
会で、東日本三オンの脱退  
を決定し「ジェイアール東日  
本労働組合」とJR労働組合  
が統一したJR東日本労働  
組合の加盟申請は保留扱  
いとしました。

私たちが、JR労働界にお  
ける、大同団結・一元化に  
向けて、日々、職場で組合  
員が奮闘しているなか、JR  
連合の許しがたい暴挙であ  
り、怒りを感じます。JR連  
合の結成目的を自ら放棄  
するとは思えません。しか  
し、全国の良識的なJR連合  
の仲間は私たち東日本三  
オンの運動に共感し、応援  
してくれていることを聞き及  
びます。これからは統一  
の目的である、東日本にお  
けるJR内多数派形成のた  
めに、地本・分会が一体に  
なり、組織の強化・拡大す  
べく、全力で取り組みます。

郷書記長集約答弁



なかなか私たちの思うようにはいかないが諦めてしまつては何も生まれない。新たなモノをつくりだして行くことは年齢には関係なく生あるうちには前に向かって進んでいくことが人間の性。若い組合員に何を残していくのか？

でいくことは、この組合で培ってきた力をどのようにならぬか？自信を持ってJR人生を全うしていくことだと思ふ。

多くの問題を抱えている。まだまだ細かな手を差し伸べられているわけではない。しかし職場の組合員と話をしながら解決していく。

労働条件、安全問題、将来への不安など、色々な問題が職場で発生している。これからの取り組みで培ってきた力をどのようにならぬか？自信を持ってJR人生を全うしていくことだと思ふ。

<代議員発言要旨>

■豊田代議員（中野電車区）

エルダー制度について気になること。本人希望を会社は把握しているのか？エルダー雇用まで期間通りに事が進んでないのでは？扶養認定拡大について職場で要求実現のために取り組んでいく。



■横森代議員（東京通信技術センター）

若い組合員の拡大を目指すのがなかなか難しい。あきらめずに拡大に取り組む。過去の事故の教訓を、工事にかかわる社員、末端の作業員まで徹底出来ているのか疑問である。安全はパートナー会社任せでなくJR本体も深くかかわって指導していくべき。若手社員の超勤が多い。要員の配置は出来ているのか？強い指導を求めているので取り組みを進めて行く。59歳対象と



■中村代議員（東京総合車両センター）

2人の仲間をエルダーとして送り出した。盛大に激励会も行った。出向先はいつまでたっても決まらない、希望もほとんど通らない。会社は社員の将来を本当に考えているのか？怒りを感じる。不安を抱えている人が多いことを知ってほしい。分会は少数だが時々集まれば、議論したり飲みに行ったり分会を固めていっている。



■浜田代議員（東京車掌区）

ある関連会社も新入社員を取り始めるという話がある。そうなるエルダー希望者に希望が通るような体制を強化してほしい。産休育休を取ると休日出勤で穴を埋めている。休日出勤をしなくても済む労働条件や対策を地本でも考えて交渉してほしい。



■石井代議員（上野車掌区）

10月に山手車掌区分会を立ち上げた。なかなか広範囲で集会を開催できなかったが、これからシッカリと分会を構築していく。そんな中、他分会と交流会を精力的に行ってきた。ダイヤ改正で乗務員運用の見直しで乗継詰所が手狭になっている。詰所の衛生面等、各地方と連絡を取りながら交渉して行ってほしい。



■中村代議員（東京駅 ステーションサービス）

エルダー協議会総会を10月に開催。ある職場では車いす担当に回され1日に万歩の単位で歩いている。清掃の人はGPS携帯を持たされている。会社に監視されているのだろうか。組織統一するときにはJR連合の役員は組織拡大できると喜んでいて。何百名も拡大できたのだからJR連合は喜ぶべきだ。JR連合の姿勢を変えさせるような取り組みをやっていく必要がある。



■飛田代議員（王子駅 ステーションサービス）

エルダー制度の取り組みだけではなく、定年延長の取り組みも併せてやるべきだ。



大会宣言

私たちは、本日「田町交通ビル」において第4回定期大会を開催し、第3回定期大会以降の取り組みの総括と今後1年間の方針を、全組合員で押し進めることを満場一致で確認した。

昨年以降、東日本ユニオンは、4名の新たな仲間を迎え入れた。しかし、私たち東京地本は、昨年に続き新たな仲間の結集に向け取り組みを展開してきたが、拡大に至っていない。東京地本の組合員の多くは国鉄採用であり、この厳しい状況を打破するためには、組織の強化・拡大が最重要課題である。組合員一人ひとりが、労働組合として当たり前前の取り組みである「労働条件の向上」「安全の確立」の実現に向け、共に話し合い、一つでも共に行動できる仲間を職場から創り出して行かなければならない。

JR連合は、第24回定期大会で、東日本ユニオンの「脱退」を正式に決定し、同時に申請したJR東日本労働組合の加盟申請は保留とした。JR労働運動の統一と大同団結に向け職場から取り組みを展開している最中であり、JR連合の安易な決断に怒りを感じずにはいられない。私たちは、本当に働く者のために、共に考え、共に行動する東日本ユニオンを全組合員でつくり出し、更なる組織の強化・拡大を図り、JR連合に必要とされる存在になって行こうではないか。

私たちが目指す「JR関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロ」は、未だ道半ばである。今もなお職場では重大なインシデントが後を絶たない。労働組合として安全施策に一切の妥協をせず、お客様はもとよりJRに働く全ての労働者の死傷事故ゼロに向け取り組みを強化して行く。

2016春闘は3月31日、経営側から平均賃上げ1,175円という回答が提示された。この間、私たちは「全組合員で闘い、要求満額獲得」という強い意志のもと、職場集会や檄布の取り組みなどを全組合員で展開してきた。しかし、経営側の回答では「過去最高の業績を上げた社員の努力に感謝する」と述べるが、その言葉が実感できるものではなかった。この様な経営側の姿勢を崩すべく2017春闘に向けて、労組の垣根を越えた連帯と交流でJR春闘の再構築を実現し、要求満額獲得の取り組みを強化し、本部交渉団を職場から支えて行こう。

第24回参議院議員選挙は、野党共闘にもかかわらず、与党の勝利に終わった。その結果、憲法改正に賛同する改憲勢力が3分の2議席を超えることとなった。このことは、安倍首相が目指す憲法改正に向け大きく前進したということであり、政治と社会の大きな岐路に立ったと言うことである。もう政治や社会に無関心ではいられない。私たち自身はもとより、子供たち次世代に責任を持ち平和憲法と民主主義を守り、あらゆる戦争政策に反対して行く。

私たちは、JRで働く者の力を組織の垣根を越えて結集させるべく、自らが出来ることから職場で実践し、全組合員の力で新たな出発をして行こう。以上宣言する。

2016年9月3日

J R東日本労働組合東京地方本部 第4回定期大会

新執行部

執行委員長	福田 高夫
執行副委員長	齊藤 良治
執行委員長	小泉 弘明
書記長	郷 重雄
執行委員	小宮 実
執行委員	齊藤 充
執行委員	中嶋 洋司
執行委員	室岡 圭司
執行委員	依田 匡一
会計監査員	難波 剛
会計監査員	鈴木 英司